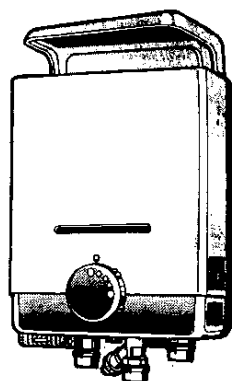
ガス瞬間湯沸器

33-822型

型式名　YS525
　　　　YS525Z

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点がありましたらお買い求めの販売店にお問い合わせください。

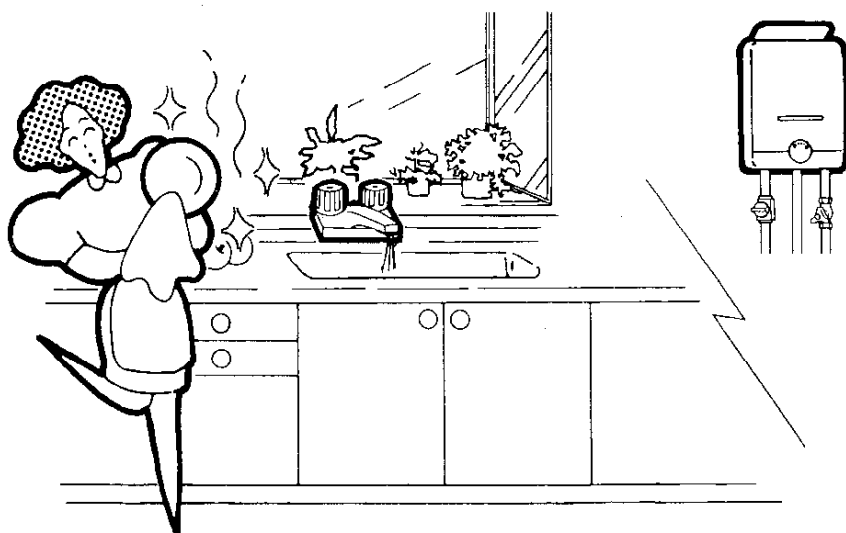
大阪ガス

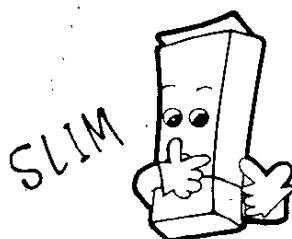
ごあいさつ

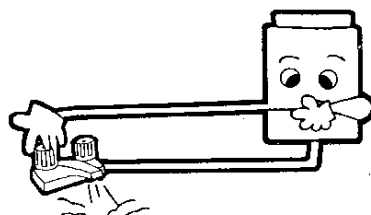
このたびは、大阪ガスのガス湯沸器を
お求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

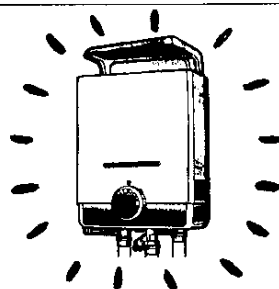
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保管してください。

もくじ

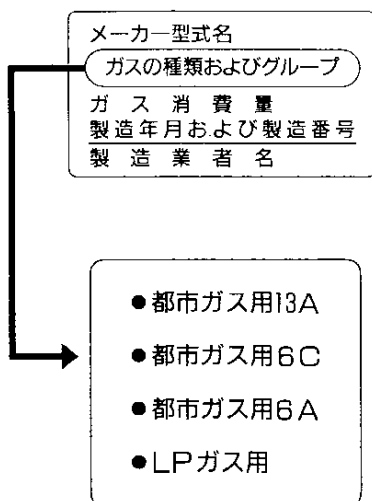
特徴・機能のご紹介

薄型・コンパクト

器具本体は薄型で、しかも壁ピタ設置タイプ。
どんな場所にもピッタリ設置できます。

操作は簡単

ダイレクト着火方式で給湯栓を開くと即、点火出湯。
湯温調節ハンドルひとつでお好みの湯温に調節できます。

シンプルなニューデザイン

"シンプル&モダン"飽きのこないデザイン・カラーで取付場所にマッチします。

必ずお守りください

使用ガスについてのご注意

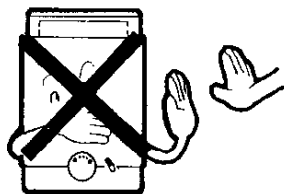
- ガスの種類を確かめてください。
- 器具右側面下に貼ってある銘板に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では、使用しないでください。
- ガスの種類には都市ガス13種類とＬＰガスとがあり、さらに都市ガスにはガスグループの区分があります。お宅のガスと一致していることをご確認ください。

器具の設置について

- 器具の設置・工事は、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

火災予防について

- 器具の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- タオルやふきんなどを器具の排気口や防熱フードの上にかぶせたり、給気口をふさいだりしないようにご注意ください。
- 器具の上に棚があり、物を置く場合は、落下しないように、十分ご注意ください。

やけどの注意

- 使用中、または使用後しばらくは器具が熱くなっていますので、湯温調節ハンドル以外には触れないでください。
- 出湯した直後には少し熱いお湯が出ることがありますので、出はじめのお湯には手を触れないでください。

換気について

- **使用中は、換気扇を回すなど必ず換気してください。**
  特に冷暖房中の換気にご注意ください。
- 閉めきった部屋で長時間使用すると、不完全燃焼防止装置が作動して消火することがあります。

ガス漏れ・やけど・火災 故障などを防ぐために

▼必ずお守りください

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉め、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。

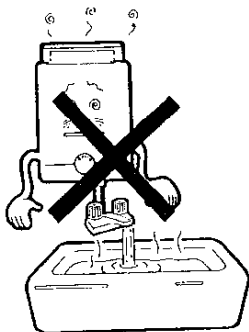
(絶対に使用しないでください)
万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。火や火花で引火し、爆発事故等をおこすことがあります。

- **お出かけやおやすみになるときは、ガス元栓を閉めてください。**

異常時の処置について

器具が使用中にふだんと違った状態（異常な燃焼・異臭・異音など）になったときや、故障・異常が生じたときは、すぐ使用をやめて、ガス元栓を閉めてください。
(10～11ページの「故障かな？と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。)

用途について

- 給湯以外の用途には使用しないでください。
- この器具はお風呂のお湯はり等の長時間出湯には適してはいません。(長時間出湯は絶対にしないでください。)

市販の補助用具について

- この器具の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

凍結に注意

冬期は、器具および配管内の水が凍って、器具や配管を破損することがあります。
凍結のおそれのあるときは7ページの「凍結予防方法」の項にしたがって処置をしてください。

飲用にお使いのとき

- 器内に長時間たまっていた水は飲用または調理に用いないでください。

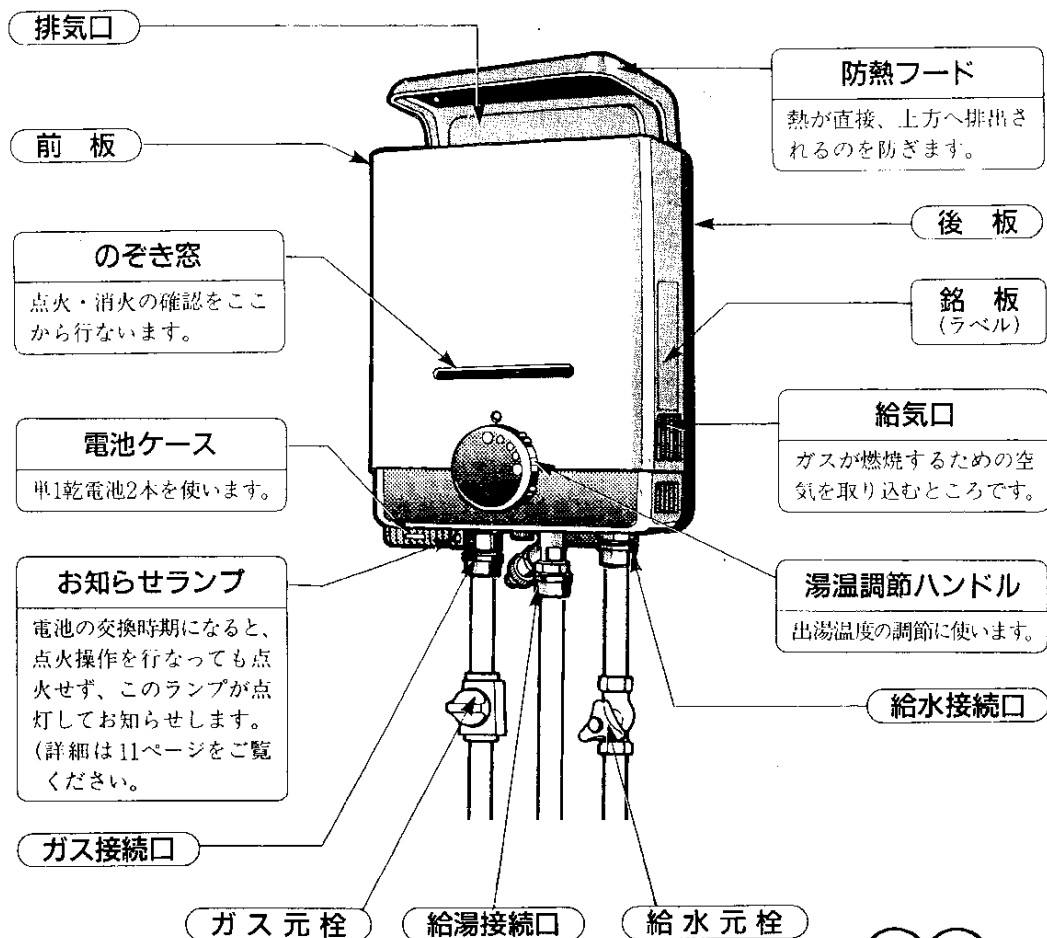
点検・お手入れ

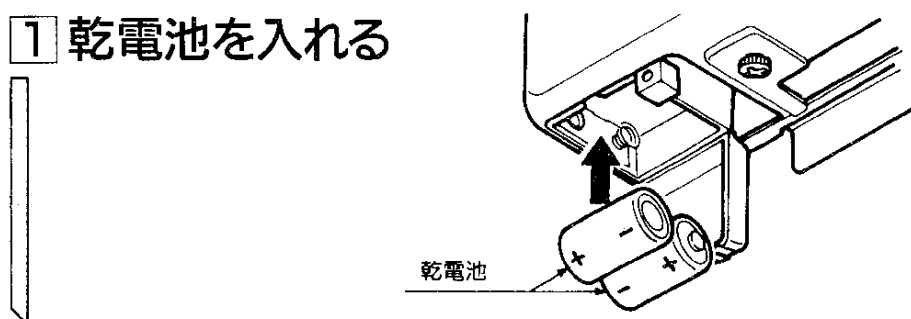
- 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。

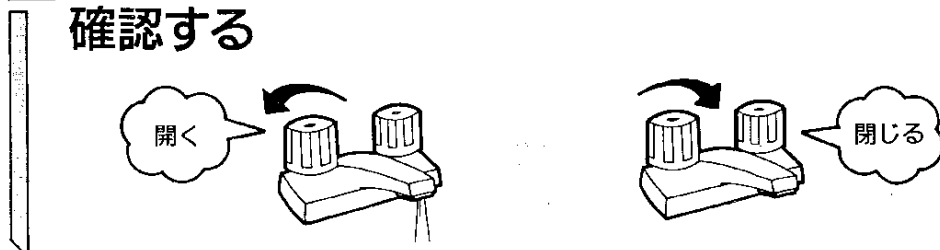
★詳しくは8・9ページをお読みください。

長期間使用しない場合

- ガス元栓を閉じ、水抜きを行ってください。(7ページ参照)
- 乾電池を電池ケースより抜いてください。(乾電池の液もれにより、器具をいためることがあります。)

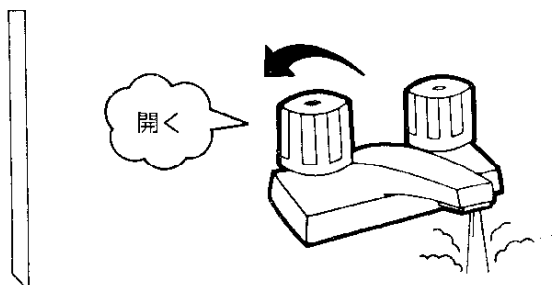
各部のなまえと扱いかた

操作前の準備と確認

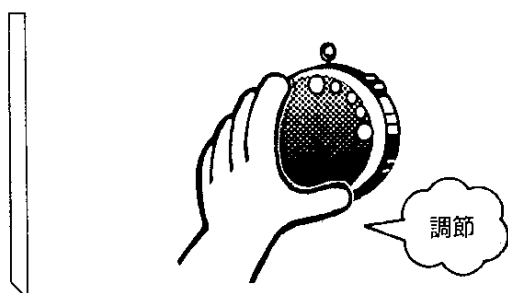
1 乾電池を入れる

2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開いて水の出ることを確認する

4 ガス元栓を全開にする

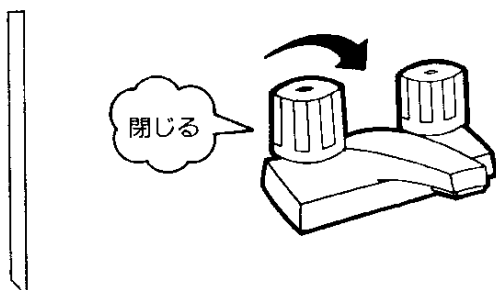
お湯の出しかた・止めかた

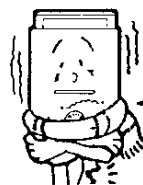
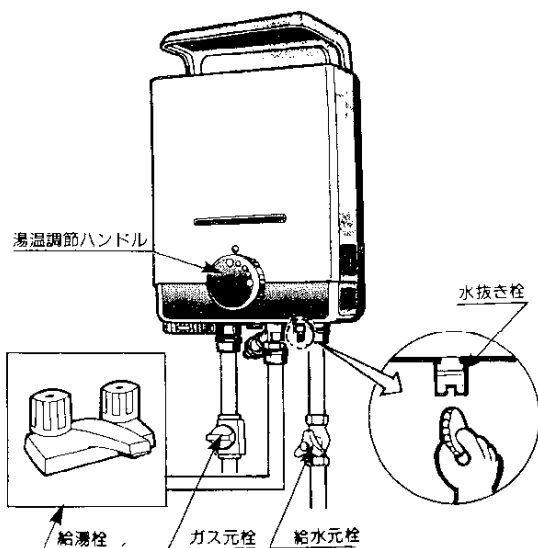
お湯の出しかた(点火)

1 給湯栓を開く

- 使いはじめは、給湯配管にたまっていた水が流れ出すまでしばらくお湯がでません。
- 再出湯するとき、一時的に熱いお湯の出ることがありますので出始めのお湯には、ご注意ください。

2 温度を調節する

湯量は熱くするほど少なくなり、ぬるくするほど多くなります。

お湯の止めかた(消火)

3 給湯栓を閉じる

お出かけやおやすみ前にはガス元栓を閉じてください。

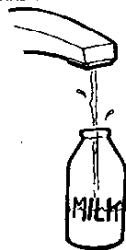
凍結予防方法

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかります。(有料)
設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれがある時は、次のいずれかの方法で予防処置を行なってください。

器具内の水を抜く方法

①ガス元栓を閉じる。
▼
②給水元栓を閉じる。
▼
③湯温調節ハンドルを(低温)にする。
▼
④給湯栓を開く
▼
⑤水抜き栓を左に回してはずす
(かたくて回らない時には、底のミゾにコイン等を差込んで回してください。)

- 次にお使いになるまで、そのままにしておいて下さい。
- 再度、ご使用になる時は、水抜き栓を閉めてから、給水元栓を開き、給湯栓から水が出ることを確かめて下さい。

水を流しっ放しにする方法

①ガス元栓を閉じる。
▼
②湯温調節つまみを(低温)にする。
▼
③給湯栓を開き、少量の水を流しっ放しにする。

1分間に牛乳びん
1本(200cc)程度
(特に寒い日はそれ以上)

(流量が不安定なことがありますので、30分後ぐらいにもう一度確認してください。)

ご注意　●凍結したときには、とけるのを待ってから(5ページ)の「操作前の準備と確認」により ①水の出ること ②水漏れのないこと ③作動に異常のないことを確かめてからご使用してください。

点検・お手入れ

点検・お手入れの際のご注意

- 器具を安全・快適にご使用いただくために、日常の点検、お手入れを必ず行ってください。
- 点検・お手入れの際には、ガス元栓、給水元栓を閉じ乾電池を取り出して器具が冷えてから行ってください。

〔器具は絶対に分解しないでください。〕

点検

- 器具の上や近くに燃えやすいものをおいていませんか？
- 排気口部分に、白い粉やススなどのつまりはありませんか？
- 配管接続部からガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。

お手入れ

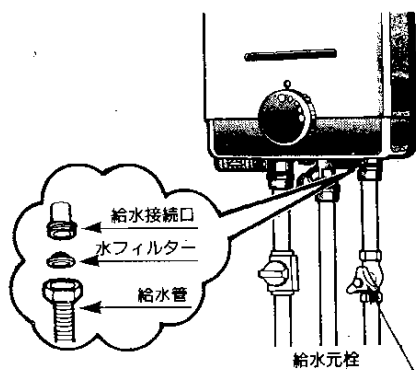
- **外装のそうじ**

湯沸器の前板・後板・防熱フードの汚れはやわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。

金属たわし、スポンジたわし、みがき粉、シンナーなどは使用しないでください。

- **フィルターのそうじ**

湯沸器の水の出が悪くなったときは、水フィルターにゴミや砂がたまっていることがあります。次の手順でつまりを確認し、そうじしてください。

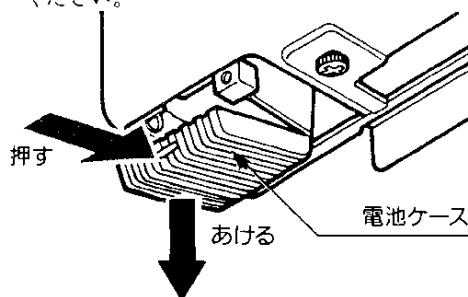
❶給水元栓を閉じてください。
❷工具で給水管を外し、水フィルターを引き出し、確認しそうじしてください。
❸給水元栓を開いて水を流し、配管内からゴミが出ないことを確認してください。給水元栓を閉じて、元どおり取り付けてください。

点検・お手入れ後の確認

- 点検・お手入れのあとは、給水元栓、ガス元栓を開き、乾電池を入れて器具が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

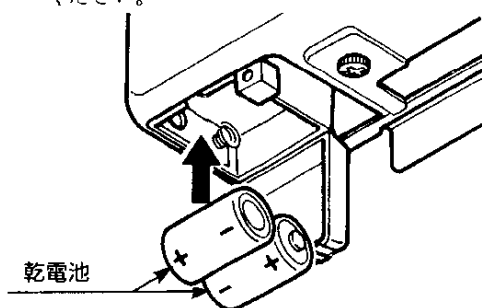
乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、給湯栓を開いても点火せずパチパチという点火スパークが約5秒間続いたあとお知らせランプが点灯します。この時には新しい乾電池と交換してください。

交換方法

❶器具左底部の電池ケースのふたを押しあけてください。

❷乾電池は単1形(1.5V)を2本同時に新しいものと交換してください。
❸乾電池を入れるときは⊕⊖の方向に注意してください。

定期点検のおすすめ

器具のご使用に支障がなくても、安心してより長くご使用いただくために2～3年に1度(業務用など長時間ご使用になる場合は1年に1度)程度の定期点検をおすすめします。
お買い求めの販売店または大阪ガス支社にご相談ください。

ご注意
●業務用などでご使用の場合
使用回数が多くなると、電池寿命が短くなります。
●乾電池を混用しない
新しいものと古いもの、種類の違うものを混ぜて使用しないでください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、修理・サービスをお申しつけになる前に
つぎのことをお調べください。

★……お知らせランプが点灯

原因＼現象	使用中にすべて消火する	給湯栓を開いても着火しない	爆発的に着火する	黄炎で燃える・すすがでる	炎が異常・不快なにおいがする	異常な音をたてて燃える	高温の湯が出ない	湯温調節を「低温」にしても熱い	「低温」にすると着火しない	お湯を止めても消火しない	処置方法	参照ページ
ガス元栓の開け忘れ		★									ガス元栓を全開にする	5
ガス元栓の開き不十分	★		●				●					
配管内に空気が入っている・残っている		★									点火するまで、給湯栓を何度か開閉する	6
ガス圧が適切でない	★		●				●				点検を依頼する	—
給水元栓の開き不十分		●									給水元栓を開ける	5
器具の水フィルターがつまっている		★							●		水フィルターを掃除する	8
水圧が適切でない	★	★							●		点検を依頼する	—
湯温調節の操作が適切でない							●				「使いかた」参照	6
換気不足					●						ご使用を中止し窓を開ける	2
安全装置の作動	★	★									「安全装置の種類とその働き」参照	11
電池が消耗している		★									電池を取り替える	9
バーナー部のつまり				●	●	●					点検・掃除を依頼する	—
熱交換器のつまり	★			●	●							
器具栓の故障	★										点検・修理を依頼する	—
器具内バルブの故障		★					●	●		●		

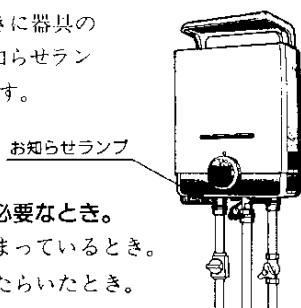
- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、
  お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。
- 修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。
  不完全な処置は事故のもとになります。

こんな場合は異常ではありません。

- 給湯栓を極端に絞りますと、バーナが消火し、水に変ることがあります。
- 点火・消火を連続的に行なった時には、点火するのに 3〜4秒遅れる ことがあります。
- 点火・消火を連続に行なった時には、お知らせランプが 一瞬光る 場合があります。

お知らせランプについて

次のようなときに器具の左下にあるお知らせランプが 点灯 します。

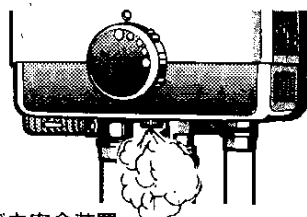
お知らせランプ

- 電池の交換が必要なとき。
- ガス元栓が閉まっているとき。
- 安全装置がはたらいたとき。

安全装置の種類とその働き

●立消え安全装置
万一使用中にバーナの炎が消えたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

●不完全燃焼防止装置
部屋の換気不足や熱交換器のつまりなどが起こると不完全燃焼となります。このときに、この装置が働いて自動的にガスを止めて、不完全燃焼による事故を防ぎます。

●過熱焼損防止装置
使用中器具本体内の温度が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

●過圧防止安全装置(過圧逃し弁)
器具内圧が異常に高くなったときは、この安全装置が働いて、自動的に圧力を下げます。なお、器具の使用停止直後に熱交換器の余熱により、熱交換器内の圧力が高くなり過圧逃し弁が作動して水がポタポタ出ることがありますが、器具の故障ではありません。この様な場合には床面をぬらしますので不都合が生じるときには、過圧逃し弁の排水処理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

●空だき安全装置
熱交換器が異常な温度上昇をしたときは、この安全装置が働いて自動的にガスを止める装置です。

●使用中にバーナの消火に気付かれたときは次の処置をしてください。

- すぐに給湯栓を閉じてください。
- 戸や窓を開いて換気をしてください。
- しばらく(約1分)待ってから、給湯栓を開いてください。
- 不着火または途中消火がたびたび起こる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

ご注意 ●空だき安全装置が作動する際には、器具の損傷を防ぐため過圧防止安全装置(過圧逃し弁)が作動し高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。

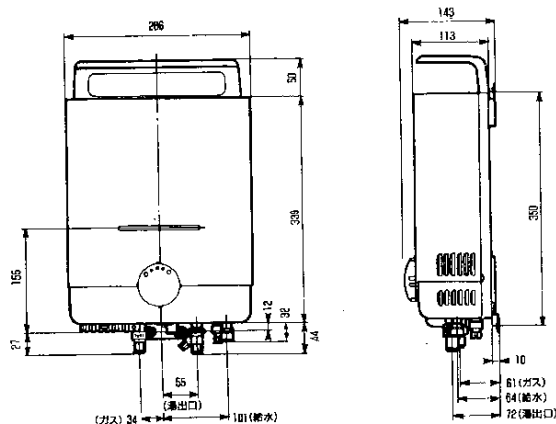
仕様・寸法図

仕様

品名		ガス瞬間湯沸器
大阪ガス商品コード		33—822
種類	給湯方式	先止め式
	給排気方式	開放式
点火方式		連続スパーク点火
最低作動水圧		0.35kgf/cm²
使用水圧		0.5kgf/cm²～10kgf/cm²
外形寸法		高さ339mm（防熱フードを含む高さ399mm）×幅286mm×奥行143mm
重量（本体）		5.9kg
接続	給水	15A（G1/2）
	給湯	15A（G1/2）
	ガス	15A（R1/2 TUねじ接続可能）
安全装置		立消え安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱焼損防止装置・過圧逃し弁・空だき安全装置
付属部品		湯出口パッキン・防熱フード・ビニールチューブ・木ねじ（3本）・乾電池（単1×2個）・止め輪

使用ガスの種類とガスグループ		1時間当りのガス消費量		出湯能力ℓ/min 上昇温度	
		kcal/h	m³/h	25℃	40℃
都市ガス	13A	9,800	0.9	(5.1)	3.2
	6C	9,800	2.3	(5.1)	3.2
	6A	9,800	1.5	(5.1)	3.2
LPガス		0.8(kg/h)		(5.0)	3.1

備　考
- 出湯能力は給水圧力1kgf/cm²のとき。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- 出湯能力の（ ）内は、計算値です。実際に25℃上昇にすると湯温調節ハンドルによりガス量が絞られるため出湯量は若干少なくなります。
  最大出湯能力で使用する場合は、湯温調節ハンドルを「高」の位置にして、湯水混合栓で適温に合わせて御使用ください。
- 換気扇連動スイッチ（別売部品95-205型）について
  - 室内の換気をより確実にするために、便利な換気扇連動スイッチのご利用をおすすめします。
    換気扇連動スイッチをご利用になりますと、湯沸器の点火・消火に連動して、換気扇が自動的に作動・停止します。
  - 換気扇連動スイッチは別売していますので、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

寸法図

アフターサービス

サービスのお申し込み

サービスのお申し込み

● **サービス(点検・修理)を依頼される前に**

「故障かな？と思ったら」(10～11ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

● **ご連絡の際には次のことをお知らせください。**

1. 品名……………………ガス湯沸器(瞬間先止め式)
2. 大阪ガス商品コード…器具の右側面に貼付してあります。

例

(N)33-822(U)
大阪ガス株式会社 02

3. 故障、異常の現象 ……できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号 、道順

転居されるとき

● **ガスの種類の異なる地域へ転居される場合**

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

● **保証期間中は……**

保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

● **保証期間経過後の故障修理について**

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後6年間です。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

名称	〒	所在地	☎
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪06(301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39-6	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4-11	☎西宮0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16-17	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4-8	☎姫路0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680-1	☎草津0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎彦根0749(22)3131
長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎長浜0749(62)7171
本社ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪06(202)2221

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス元栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガス支社またはサービスショップにご連絡ください。

89.4.1000(00)①